

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年1月12日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【Dタンクエリア濃縮水貯槽移送ポンプ(A)吐出圧力計の指示不良について】 当直員が、Dタンクエリア濃縮水貯槽移送ポンプ(A)が停止中にも関わらず、吐出圧力計の指示値が1.3MPaを指示していることを確認。 停止中の濃縮水貯槽移送ポンプ(B)の吐出圧力計の指示は異常なし。 不具合は、吐出圧力計の指示が不良であることのみであり、濃縮水貯槽移送ポンプ(A)の機能は異常なし。 濃縮水貯槽移送ポンプの吐出圧力計は、使用前検査時の吐出圧力の計測を目的として取付けられた経緯があり、通常の運転には不必要と判断できることから、当該ポンプ(A)および(B)の吐出圧力計および圧力計取付座を取外し、閉止板を取付けることで計画中。</p>	GⅢ	1月6日
2	<p>【J6東タンクエリアの堰内水位監視用Webカメラの監視不具合について】 当直員が、免震重要棟集中監視室での監視において、J6東タンクエリアの堰内水位監視用Webカメラの映像が表示されないことを確認。 今後、原因調査後、修理予定。 タンクエリアのパトロールによる1日1回の監視、およびタンクの水位計による常時監視を実施しており、監視に影響なし。</p>	GⅢ	1月6日